



# 彩の技術士

## 公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部

The Institution of Professional Engineers, Japan

### こうほう・Vol.1 2013.7.1

〒333-0844 川口市上青木 3-12-18 SKIP CITY A1-706B  
埼玉県支部事務局 Tel.&Fax 048-263-0841  
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

#### ごあいさつ

平成25年度年次大会のご案内  
支部設立経緯  
第1回年次大会の紹介  
支部発足披露祝賀会  
平成24年度活動報告  
平成24年度活動報告  
平成25年度主なCPD実績と予定表研修  
技術士第二次試験/第一次試験合同合格者祝賀会

#### 目次

支部長 小野寺 昭夫  
総務・広報委員会 渡邊 孫也  
総務・広報委員長 増古 恒夫  
総務・広報委員・幹事 堀 紀夫  
総務・広報副委員長 松井 繁  
地域社会貢献委員長 阿津沢 潔  
業務委員長 阿津沢 潔  
研修委員会 黒澤 兵夫  
研修委員長

### 「彩の技術士」創刊に際して 支部長 小野寺昭夫

埼玉県支部には現在、会員として約750名の正会員と約250名の準会員が登録されており、その専門分野は建設・電気電子・機械・上下水道・情報工学・応用理学・環境・金属など多岐にわたる engineer の集団です。会員は企業等に勤める大方の「企業内技術士」と、独立開業している技術士及びそれらの勤めや生業を卒業し自由に活動できる技術士で構成されています。

埼玉県支部は公益社団法人の技術士集団として、主として会員相互の研鑽と交流及び地元社会への貢献を目的とし、役員会(5回程度/年)と必要に応じて随時開催される幹部会(3回程度/年)で、基本的な事項が立案・審議され、決議事項は各

種の委員会を通じて実施されています。

この埼玉県支部の広報誌「彩の技術士」は、日本技術士会の埼玉県支部の website と並行して異なる media で、会員へ研鑽の機会を提供し、会員同士の交流は基より、地方自治体など地域行政を担当する部署の方々に、私どもの組織や活動等を紹介し、ご理解・ご利用いただけるように発行することにしました。例えば、この創刊号では、支部の年次大会の開催案内、発足経緯と運営組織などについて記載しています。

私ども埼玉県支部の活動がより活発に、効果的に展開できるよう、会員を始めみなさま方のご協力・ご支援・ご活用・お引立てなど、よろしくお願いいたします。

### 平成25年度年次大会の案内 総務・広報委員会

来る7月27日(土曜日)に、埼玉県支部年次大会が開催されます。本大会は、会員による事業活動の総括と、今後の計画を議論する場でもあります。多くの会員の方々の議論の場として、ぜひ活用頂きたく、案内いたします。

日時: 2013年7月27日(土曜日), 13時30分～

場所: 創業・ベンチャー支援センター埼玉(新都心ビジネス交流プラザ)4階A～C会議室(さいたま市中央区上落合2-3-2)  
交通手段: 埼京線, 北与野駅 徒歩2分, 京浜東北・宇都宮・高崎線, さいたま新都心駅 徒歩10分

#### プログラム

13:30～13:35 開会の挨拶 小野寺 昭夫 氏(支部長)

#### ▶第I部 CPD(継続研鑽) 司会 黒澤研修委員長

13:35～14:35「最近のスマートフォンと業務への活用について」重谷 剛史 氏(NTTドコモ埼玉支店法人営業部SE担当課長)

—休憩—

### 年次大会の事前アンケートへの協力をお願い 総務・広報委員会

今年度の埼玉県支部の年次大会は、会員各位の全員参加型で準備を進めることに致しました。そこで事前にアンケートを実施し、会員各位の支部活動についてのご要望を十分に把握・分析の上、年次大会においてその結果に基づき協議を行い、

#### ▶第II部 年次大会(支部活動へ参加しよう ～会員の技術力を活かすために～)

14:50～15:05「平成24年度の活動実績と平成25年度の活動計画」山下企画委員長

15:05～15:25「産学官連携における埼玉モデル」松井地域社会貢献委員長

15:25～15:45「行政や支援機関と連携した技術課題相談会」阿津沢業務委員長

—会場設営・休憩—

パネル討論「埼玉県の産業振興に会員の技術力を活かそう」

16:00～17:00「地域交流を盛んにしよう」コーディネーター: 黒澤研修委員長

(会場移動)

#### ▶第III部 懇親交流会 司会 戸村副企画委員長

17:15～19:00懇親交流会 開会の挨拶 支部長(新旧役員挨拶)

懇親交流会 中締後地域別交流会実施 会場:A会議室

今後の当支部の事業実施に反映して参りたいと考えています。特に当支部会員の大半を占める企業内の方々のご協力が、当支部が事業を展開していく上では欠くことのできないものであります。本会 HP にアンケートを掲載しています(会員パスワード必要)ので、是非ご協力の程よろしくお願いいたします。

## 支部設立経緯 総務・広報委員長 渡邊孫也

### 1. これまでの経緯

日本技術士会は平成17年7月から公益認定を前提とした新定款第5条に規定された「支部その他の地域組織」設置にかかわる組織的検討がなされてきた。その後引き続き総務委員会及び企画委員会において検討されて、地域組織における活動費助成策及び関東甲信地域における地域組織の基本枠組みについて成案を得たので、基本となる規程が平成23年5月の理事会において地域組織の設置運営に関する規則として制定された。

### 2. 地域組織設置の意義・目的

次の3つの観点からそれぞれの地域特性に合わせた活動を行う県支部を設置することとなった。

- ①公益社団法人としての対応
- ②技術士及び技術士会の知名度向上が求められている。
- ③会員の拡大も長年の課題である。

### 3. 埼玉県支部の設置

平成23年11月の本部理事会において埼玉県支部の設立が承認された。神奈川県支部に続いて関東甲信8県の中では2番目であった。一方、第9回埼玉県技術士会の定時総会(平成23年6月11日)において埼玉県技術士会の解散に向けた方針が承認され、平成24年3月24日に臨時総会を開催して3月末日をもって埼玉県技術士会は解散した。同時に埼玉県技術士会及びその前身である関東技術士協会の発足の時から長年に

わたってご支援くださいました埼玉県はじめ、さいたま市など、地域の官公庁の方々、関係の地域産業関連の皆様、諸企業の皆さま及び技術士の諸先輩の皆さまに深く感謝しながら臨時総会は完了した。

埼玉県支部は平成24年1月の理事会で支部長が指名され、2月には第2回目の役員会が開かれ、図のような組織と人事が検討された。

かくして4月1日に埼玉県技術士の活動は埼玉県支部として新しく第一歩を踏み出すこととなった。

今後下記3主要項目を重視して行く事としている。

- (1) 技術者倫理に基づき、技術士の資質の継続研鑽
- (2) 地域住民・地方自治体及び産業技術に対する貢献
- (3) 科学技術の向上と県民経済・産業の発展・福祉の増進



## 第1回年次大会の紹介 総務・広報委員・幹事 増古恒夫

第1回年次大会を4月14日に行われた。CPD講演会を行うと同時に埼玉県支部設置の経過と運営組織等現状をご説明し支部に対するご要望をお聞きして今後の発展に役立てると同時に人材の発掘に努めることにした。この年次大会には本部より清水総務委員長のご出席を賜り、約50名が集まり、役員以外に16名の新しいメンバーが参加して盛大に行われた。

支部役員から以下の項目について説明を行い、

- (1) 支部設立経緯
- (2) 支部の規定
- (3) 組織と体制
- (4) 平成24年度事業計画等

意見交換会を行ったが主な質問は次の通りであった。

- ・企業内技術士は委員会に参加できるのか、どのような人材が必要なのか。
- ・研修委員会へ 技術系人材育成についての 企画・実施について技術士業務開業研修会、技術士開業入門コースの開催に関して日程計画を知りたい。

- ・研修委員会へ CPD・見学会を計画しているが県支部会員数(720名)に見合った参加人員に見直すべき。
- ・総務広報委員会、企画委員会へ 主要な業務の支部会報等の企画・編集・発行と技術士及び外部に向けた広報とは違いは何か。
- ・地域貢献委員会第29回中小企業活性化研究会について、従来はその地域エリアだけを対象にしていたのか。
- ・埼玉県を地域別に分け(例: 東部、南部、西部、北部の4地域)取りまとめ者を決めたらどうか。

最後の懇親交流会初めて参加の会員の争奪戦となり盛況であった。



## 支部発足披露祝賀会 総務・広報副委員長 堀紀夫

公益社団法人日本技術士会の埼玉県における活動拠点として、埼玉県支部が発足し活動を開始したことを、県内の各界及び会員に周知すべく埼玉県支部発足披露祝賀会が、平成24年6月12日(火)、さいたま市浦和区のワシントンホテルにて開催された。

祝賀会には埼玉県選出衆参両院の多数の国会議員の先生方、関係する国や埼玉県などの官公庁、産業界、大学、マスコミや銀行関係の方々、及び近隣県支部の代表、そして地元埼玉県支部の会員など、総勢約120名のご参加を得て、盛大に行われた。

祝賀会は、統括本部西村常務理事の司会で進められ、冒頭

(公社)日本技術士会内村会長のご挨拶があり、続いてご来賓を代表して埼玉県産業労働部立川副部長様の祝辞を頂いた。内村会長のご挨拶では、技術士と日本技術士会及びその活動内容などの説明、また埼玉県支部設置の意義などが話された。立川副部長様からは、以前の埼玉県技術士会の頃から技術士とは深く連携しており、今後のますますの地域貢献を期待している旨のお話を頂いた。

ご祝辞に続き司会から来賓の方々が紹介された。国会議員の先生方にはご登壇頂き、代表して神風議員からご挨拶を頂いた。

その後、埼玉県支部、小野寺支部長の挨拶と乾杯が行われた。乾杯後は各テーブルを囲んで、あるいは通路等で歓談の輪が出来、和気藹々の雰囲気では話はずんでいた。

最後に(公社)日本技術士会の清水副会長により中締めが行

われたが、その後も退室する人は少なく、国会議員の先生も含め多数が残り話題は尽きないようであった。

この祝賀会により、国会議員の方々や官公庁、マスコミ関係者など多くの皆様に技術士や技術士会、埼玉県支部の存在意義等を深く印象付けられたものと思われる。

なお、祝賀会は(公社)日本技術士会の主催で行われたが、その準備や当日の運営など埼玉県支部が全面的に協力した。



## 平成24年度活動報告 地域社会貢献委員長 松井繁

埼玉県支部の地域社会貢献委員会は支部誕生と共に新たに設置された委員会であり、24年度活動は、平成25年2月に開催された、「第29回中小企業活性化研究会・交流会(埼玉大会)」の開催準備に特化した活動を行った。

埼玉大会の開催内容、プログラム、講演者等は月刊技術士5月号P. 26及び日本技術士会中小企業交流実行員会ホームページ(<http://www.engineer.or.jp/cmt/y/chusho/>)をご覧ください。

ここでは、埼玉大会でのアンケート結果の一部をご披露いたします。

頂き、反省事項もあった。

### (3)参加者の自由意見

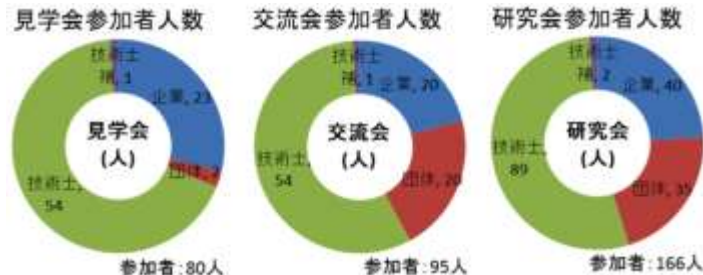
アンケートでは、産学官連携について、理化学研究所について、日本技術士会埼玉県支部への要望を自由意見として記述して頂いたが、多くの意見が寄せられた。

ご意見の大部分は、技術士会の今後の産学官連携についての強力な橋渡しを期待するものや、地域密着型の産学官連携の重要性の指摘であり、また、理研の産業成果を意識した活動や積極的な産学官連携を進めている実態を目の当たりにして、研究シーズに対する企業側のニーズからの歩み寄りも重要との意見も見られた。

紙面の関係から、アンケート結果を十分にご披露できないが、アンケート結果をご覧になりたい方は、埼玉県支部総務・企画委員会にご一報ください。



### (1)参加者の構成



### (2)開催内容の評価

アンケートは研究会参加者166名の内、46名から回答が得られ、研究会の運営、プログラムの構成、所要時間、講演内容、配布資料等について、良い68%、普通24%と合わせて92%の評価を頂いた。

しかし、一部に会場の運営や、時間配分等に改善のご指摘を

## 平成24年度活動報告 業務委員長 阿津沢潔

平成24年6月の埼玉県支部発足に伴い、埼玉県技術士会の業務委員会の活動を引き継ぎ、「埼玉県支部業務委員会」として以下のような活動を行ってまいりました。

### (1)技術課題相談会

①「コラボ産学官埼玉支部」主催、「埼玉県」・「産学連携支援センター埼玉」・「日本技術士会埼玉県支部」の技術課題相談会を下表のとおり、5回実施しました。

技術士2名と「埼玉県産業技術総合センター」、「産学連携支援センター埼玉」の職員1名がグループを組んで、新技術・新製

品開発、コスト低減、生産性向上、品質改善などの相談にのるので、18社については相談会以降、企業を訪問して具体的な打合せを行っています。相談員には、開催地区の方を優先に、多くの会員の方に参加していただこうと考えておりますので、ご協力をお願いします。

開催日	開催場所	相談企業数	技術士参加数	フォローアップ訪問
H24.7.20	さいたま市	16社	8名	4社
H24.9.14	さいたま市	16社	8名	5社
H24.11.16	三芳町	16社	8名	2社
H25.2.6	川口市	13社	4名	2社
H25.2.14	川越市	16社	8名	5社

②埼玉県支部となり、新規に「埼玉県産業労働部産業支援課」

及び「埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)」と連携した技術相談活動を行いました。

連携先	開催日	開催場所	相談企業数	技術士参加数
県産業支援課	H24. 8. 29	春日部市	3社	3名
	H24. 9. 4	川越市	3社	4名
SAITEC	随時受付	SAITEC	8社	8名

ーアリーナ

上記のほか、大学や公的機関との連携による中小企業活性化支援活動を行いました。

今年度も、業務委員会は技術士の業務開発、活用促進及び科学技術についての行政施策への協力、提言等を行って行く所存ですので、皆様のご協力、ご支援を、よろしくお願い致します。



(2)展示会への出展

下記展示会に出展し、技術士のPRや「埼玉大学」及び「コロボ産学官埼玉支部」と連携して、無料技術相談会を行いました。企業や公的機関などから相談、問い合わせをいただき、今後の活動に活かしていく予定です。

- ①H24. 22. 6 北部技術交流会,ものづくり大学
- ②H24. 11. 8～11 コロボさいたま2012, スーパーアリーナ
- ③H25. 1. 30～31 彩の国ビジネスアリーナ2013, スーパ

表 平成 25 年度主な CPD 実績と予定表(研修委員会)

日程	時間	場所	テーマ
4/24(水)	9:00-17:30	神流川沿岸～吉田村	第1回見学会再生エネルギー「神流川沿岸発電所、秩父バイオマス元気村発電所」
5/25(土)	15:00-19:00	新都心ビジネス交流プラザ	CPD セミナー/合格者祝賀会 第9回「埼玉ちゃれんじ企業経営者会長賞」受賞者 共同技研化学㈱取締役社長 濱野 尚吉氏
6/27(木)	18:15-20:15	ホテルプリランテ武蔵野 With You さいたま	CPD 講演会「また問題が起こったインフルエンザ」日本大学医学部准教授 黒田 和道氏
7/27(土)	13:30-19:00	新都心ビジネス交流プラザ	年次大会 CPD 講演会「最近のスマートフォンと業務への活用について」NTTドコモ埼玉支店、重谷 剛史氏
8/下旬		(大宮市民会館)	市民講座「埼玉県の活断層と防災」
9/月上旬			CPD 講演会 2 回目「最近のエコカー」
10/月上旬			産学官連携セミナー1 回目～イノベーションについて～
10/下旬			第2回見学会埼玉県食品・お菓子工場関係
11/中旬			CPD 講演会 3 回目 ～セキュリティについて～
12/月上旬			産学官連携セミナー2 回目 コミュニティービジネスにおける技術士の役割について
H26,1/4(土)	13:00-17:00	(With you さいたま)	CPD 技術士研究業績発表会・新年会
1/下旬			新規技術士開業支援講座
2/中旬			CPD 講演会 4 回目 ～技術士の倫理について～
3/29(土)	13:00-17:00	(With you さいたま)	技術士制度説明会

\*注) 日程、場所、テーマ等の変更の可能性があります。

\*「IPEJ」日本技術士会「技術士会」(CEマ

技術士第二次/第一次試験合同合格者祝賀会

研修委員長 黒澤兵夫

歓迎の記念講演としてOnly One企業で且つ埼玉ちゃれんじ企業経営者会長賞を受賞した共同技研化学㈱代表取締役社長の濱野 尚吉氏による「接着・粘着テープ」の開発事業の苦勞/死の谷克服及び技術の深化について貴重なお話を伺った。日本発明大賞を3年連続受賞している輝かしい実績と経営について大変興味のある内容であり、新合格者の門出に相応しい講演内容であった。新合格者からの質疑応答が活発に行われ、非常に有意義な祝賀会になりました。



おくづけ 公益社団法人日本技術士会埼玉県支部  
 こうほう・彩の技術士 第1号  
 発行年月日 平成25年7月1日発行  
 発行所 埼玉県支部  
 e-mail saigjts@cabenet.ne.jp  
 編集 総務・広報委員会